

THE PAPER TUBE

全国紙管工業組合

謹 賀 新 年



2011年 年頭所感

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様、またその役員、従業員とご家族の皆様には良い年をお迎えになられたことと存じます。

平素は組合の運営、活動に対しまして多大なご協力を賜り感謝申し上げます。

今年の我々紙管業界の状況は、原材料価格もある程度安定して推移したこと、また量も徐々にではありますが回復して、総じて比較的平穏な一年ではなかったかと思われまます。ただ、需要家の業種によつては事業再編や生産の海外移転などで、組合員のそよつて立つ需要家の業界にかなり左右されるという状況が見られ、このような傾向は今後も続くものと思われまます。

日本経済全体を見ますと、リーマンショック以降各種景気対策と東南アジアをはじめとする新興国の景気回復と発展に伴う輸出増大が大きく寄与し、大手企業を中心に収益は回復しつつあります。

しかしながら、我々紙管業界も含まれる中小企業の多くはまだまだ影響が少なく実感できていないのが現状ではないでしょうか。

世界の中で日本は人口の推移、少子高齢化などの要因から需要増は見込めず、また長期にわたる政治空白による経済や財政の不透明感がある一方、欧米の金融不安がくすぶる中、円高が進行して、多くの製造業が自動車、家電を筆頭にどんどん海外へそ

の製造拠点を移していく傾向が多く見られるようになりました。

紙管業界は地場産業的な要素が高く、国内から海外に製造業が移っていくことは我々にとって益々大きな問題となってくるものが予想されます。

市場というパイが小さくなっていく中、座視していることは出来ず、生き残り策を皆で考え紙管業界として、経済のグローバル化に備えて真剣に取り組む時期に来ているのではないかと思われまます。

海外展開を考えるにしても国内の足元をしっかりと固めておかねばならず、業界の財産である価格を大事にして、量よりも質を高めて財務基盤を強固なものにし、人財の確保、養成を考えて行かねばなりません。そのためには組合員相互の信頼と協調がもっとも大事なポイントとなりますので、より一層のコミュニケーションを図りたいと考えています。

当組合としてもそのような観点を大事にして、本年も活動していきたいと考えまますので、皆様のより一層のご支援をお願い申し上げます。

平成二十三年 正月

理事長 下畦 正明

西日本紙管(株)代表取締役社長

合同研修会 報告

理事 鈴木 陽 (株 鈴木松風堂 取締役)

第2部では、海外の最新設備関係について、伏原 宏 氏により、フランスの紙管製造機械メーカー EBERLE S.A.S. (H



福山製紙株式会社
代表取締役専務 田中 聡 様

去る10月20日 名古屋市「ホテル ルブラ王山」におきまして、「紙管製造基礎技術の最新動向 パート2」と題し、紙管製造に欠かせない、紙管原紙、製造機械の2項目について研修会を開催致しました。

第1部では、紙管原紙について、福山製紙株式会社 代表取締役専務工場長 田中 聡 氏に、品質の安定向上をテーマに、紙管原紙の求められる品質や、基本的な特性、原料、製造方法、また、それらが及ぼす品質との関係や、紙管原紙の品質が紙管に及ぼす影響等について教えていただきました。

ベルレ社)の世界でも最高水準の紙管製造設備やカット機の実際に稼働している映像や性能を紹介して頂きました。

紙管メーカーとして、良い製品を作るためには、やはり素材を知り、さまざまな道具(機械)の特徴を理解し、またそれらを使いこなす技術が必要です。今回の研修会では今まで当たり前と見落ししがちであった、紙管製造の基礎となる紙と機械の、「今さら聞けない」「知りたくても機会がない」といった事項を知る良い機会であり、また、教えて頂いた内容以外にも企業の取り組み、モノづくりに対する姿勢等、まだまだ見習わなくてはいけないことがあったように思います。



エベルレ社の説明をして下さる
伏原 宏 様(マテックス・フシハラ代表)

今回の研修会で得た知識を活かし、不況を言い訳にすることなく、社会のニーズや環境の変化に合わせて次のステップへと、さらに良い製品作りに繋げていきたいと思います。

今回の研修会では、前回の参加者を上回る、組合員34社107名、関連企業19社46名、新聞社4名、講師・アシスタント5名の計162名の参加を頂きました。また、研修会終了後、交流親睦会も開催され盛況のうちに終了しました。



講演を熱心に聞かれている
研修会ご参加の皆様方



福山製紙株式会社

代表取締役社長
伊藤 晃

〒532-0031 大阪市淀川区加島2-2-1
TEL.06-6301-2131 FAX.06-6301-2919

波の、その先に。〜



DORRUGATED BOARD「波の形をした厚紙」。波ポールは、そのような意味をもっています。日本で初めて「波ポール」を世に出してから、レンゴは常にお客様とともに数々のパッケージングソリューションを生みだしてまいりました。「しっかりと包む」から「美しく守る」まではもちろん、レンゴはさらにその先のパッケージング技術を進化させ、これからも社会に貢献してまいります。

パッケージング・ソリューション・カンパニー

RENCO
http://www.rengo.co.jp

レンゴ株式会社 | 本社 〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー 06-6223-2371
東京本社 〒108-0075 東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー 03-6716-7300

青年部会研修会 報告

青年部会監事 佐方 将義 (三協紙業(株)代表取締役社長)



リコーージャパン株講演

去る、平成22年8月24日に青森県の古牧温泉青森屋にて青年部会の研修会が開催されました。今回は製造部門を離れて、サービス業と管理業務における業務の改善に関する研修を行いました。

第1部では、リコーージャパン株式会社により「オフィスにおける環境と業務の改善」をテーマに講演がされ、複合機を中心としたペーパーレス化は単なる省エネに留まらず仕事の処理速度の向上・情報の共有化を通じて顧客満足に貢献できる事を体験学習できました。

目下取り組んでいる業務改善を広く業界に紹介する竹林紙管様の度量の深さに感謝すると同時に我々は切磋琢磨して、情報化社会をもっとうまく利用すべきと考えさせられた研修でした。



古牧温泉青森屋総支配人
佐藤 大介 様
(現 アルファリゾート・トマム
代表取締役総支配人)

第2部では古牧温泉青森屋の総支配人佐藤大介氏により「サービス業における業務改善」をテーマに、いったん破綻した旅館を再生するために星野リゾート(株)から派遣された佐藤総支配人がどの様にして再生へのプランを作成し、社員と一丸となつて業務の改善に取り組んできたか実例をまげて話して頂きました。

この中で古牧温泉の破綻原因を

- ① 顧客を大事にしなかった事
- ② 利益を大事にしなかった事
- ③ 魅力の発信力がなかった事

と分析した上で、自分達の強みを生かし、徹底的に取り組むことで今日に至っているとの話には異業種ながら、共感するところが多くとても有意義な講演でした。

さらに今回は第3部として「古牧温泉青森屋の取組の実体験」を加え、いつもの宴会とは趣向を変えて、「青森の熱い祭りを見て・聞いて・体感するみちのく祭りや」というショーレストランで食事をしながら、青森屋のコンセプトの青森文化体感の宿をどの様に表現しようとしているかを視察しました。

創意工夫されたレストランの運営と共に、目の当たりにした若い従業員のエネルギーやモチベーションの高さに参加者全員が心打たれ、きつと我々にも出来る！と確信を持つて帰路に就いた研修でした。

今回は青森という遠方にもかかわらず、13名の参加申込があり、残念ながら2名のかたが直前に参加できなくなりましたが、最終11名が参加し内容の濃い有意義な1日を過ごしました。



踊る！ 青年部会の皆様

昭和電工の
紙管用接着剤 **ポリゾール**



昭和電工株式会社
機能性高分子事業部

本社 〒105-8518
東京都港区芝大門1-13-9
電話 03-5403-5610



紙は時代のメッセージー。

TOYAMA
SEISI

富山製紙株式会社

代表取締役社長 寺崎 敏治

本社工場/富山市下新西町3番14号 〒930-0807
TEL (0764) 32-1147 FAX (0764) 31-4498

IT委員会 委員長 村上 和弘 (㈱竹林紙管 代表取締役社長)

常設の委員会の中では一番新しいIT委員会もまもなく8年目を終わろうとしています。ここまで何とかやって来られたのは、皆様方のご理解とご協力のおかげであり、誠に感謝申し上げます。

委員会発足以来現在まで、当委員会としては次の2点を主に取り組んできました。
組合に関する情報の迅速な発信（ホームページ、メールマガジン、メールによる）
組合員のITの推進（ITに関する知識、情報の発信）

ITを利用するメリットの大きなものの1つは迅速さです。いかに早く情報を皆様に伝えることが出来るかが重要であり、まだまだ不備な点がありますが、迅速な情報発信を心掛けてきました。なかなか組合のホームページを見る機会はないと思いますが、地区部会の活発な活動状況も載せていますのでぜひ一度ご覧頂ければ幸いです。

またITに関するちょっとした知識やニュースを委員の皆で順番に執筆して皆様にお届けしてまいりました。内容に不満はあるかと思いますが、今後も有益な情報を選んで発信して行きたいと思えます。

昨年末よりサービスプロバイダーの変更に伴い、事務局のメールアドレス及びホームページのURLが変更になりました。皆様にはご迷惑をお掛けいたしますが、本誌に新しいアドレスを載せていますので、変更の程よろしくお願ひ申し上げます。

総務委員会 委員長 赤柴 勝三 カオル工業㈱代表取締役社長

新年あけましておめでとうございます。
昨年中は組合の活動に多大なるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

総務委員会では例年行っております事業として

1. 紙管業界景気動向調査
2. 労働条件の調査
3. 紙管製品需要予測調査
4. 春の賃上げの予想調査
を本年も実施いたします。

この他に組合員台帳の整備、住所録の改定が不十分なため再度本年中に取りまとめたいと思えます。
組合員の皆様にはお手数をおかけしますが何卒ご協力下さいますよう宜しくお願ひ申し上げます。

技術委員会 委員長 平手 義彦 丸平紙工㈱代表取締役社長

新年、明けましておめでとうございます。
昨年は、名古屋での「合同研修会」に多数、出席頂きまして、ありがとうございました。
お陰様で、大盛況に終わり、非常に有意義な「研修会」になりました事、厚く御礼申し上げます。

本年も、既に「10月19日（水）」に、名古屋にて開催を決定致しました。
内容は、当組合でも「CFP委員会」を立ち上げ、準備を開始致しております、「カーボンフットプリントについて」を予定致しております。

今後も、組合員に取りまして、お役に立てる様、技術委員会一同、努力して参りますので、宜しくお願ひ致します。

PR委員会 委員長 鈴木 陽 (㈱鈴木松風堂 取締役)

新年、明けましておめでとうございます。

日頃は、PR委員会の活動にご支援、ご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

PR委員会では、年2回のペーパーチューブの発刊を通じて、皆様に組合の活動や、さまざまな情報の発信を行ってまいりました。

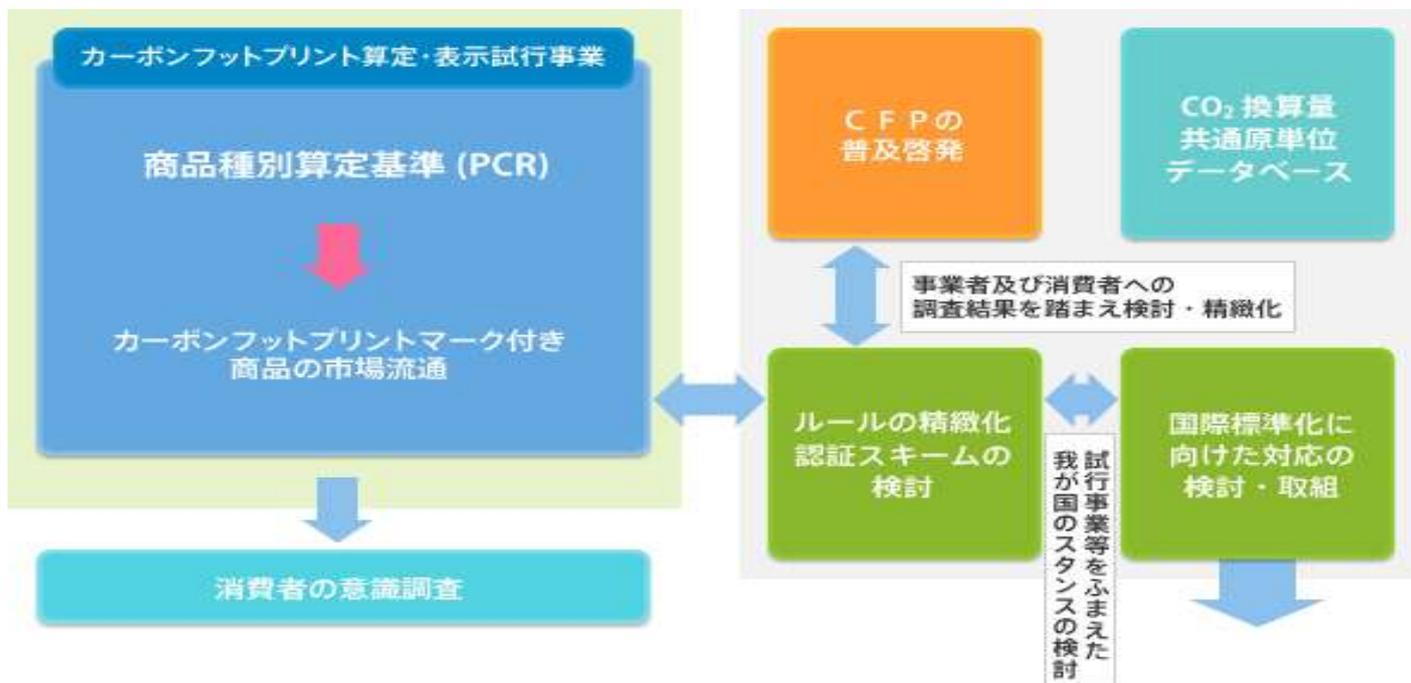
今後も、皆様に興味を持っていただける情報や記事を発信していきたいと思えますので、よろしくお願ひ致します。

CFP制度試行事業の概要・位置づけ

平成20年7月29日に閣議決定された「低炭素社会づくり行動計画」において、「見える化」の一つとして、商品及びサービスのライフサイクル全体（原材料調達から廃棄・リサイクルまで）で排出される温室効果ガスをCO₂量に換算し、表示するカーボンフットプリント（以下「CFP」という。）制度について、「2008年度中に排出量の算定やその信頼性の確保、表示の方法等に関するガイドラインを取りまとめ、来年度から試行的な導入実験を目指す。」とされています。

このため、平成20年度、経済産業省では、カーボンフットプリント制度構築に向け、関係省庁との連携のもと、制度の指針となる「カーボンフットプリント制度の在り方（指針）」（以下「指針」という。）と、商品・サービスごとに排出量の算定ルールを作成するための「商品種別算定基準（PCR：Product Category Rule）策定基準」（以下「PCR策定基準」という。）を取りまとめました。

CFP制度試行事業では、これら「指針」と「PCR策定基準」に基づいた、商品・サービスの市場導入実験や制度の更なる精緻化等を行い、商品・サービスのCO₂排出量の「見える化」によって、消費者が企業の温暖化防止対策を評価する仕組みを整備します。また、CFP制度試行事業では、試行事業を通じ浮きぼりになった課題を踏まえ、ルールの精緻化、ISOによる国際標準化の議論に反映させていくこととします。これにより、企業の温暖化対策の取組を促進し、低炭素型の産業構造への変革の実現と、消費者自身の低炭素行動を促すことを目指します。



【カーボンフットプリントの定義について】

商品・サービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO₂量に換算して、当該商品・サービス等の単位で分かりやすく表示する仕組み。

出典：CFP制度施行事務局ホームページより (<http://www.cfp-japan.jp/>)

「私のひとりごと」

日本紙管工業株式会社
代表取締役社長 竹本 實生

シングルも夢ではない!!

ゴルフは誰でも上手になりたいと思っている。何故か、思えば思うほど悩みが増え、考えれば考えるほど迷路に落ち込む。

朝に心ときめかせてコースに向かい、夕べに頭(コウベ)を垂れて家路に着く。

それでも一夜明ければ、性懲りもなく、今度こそはと思いを巡らす。

18ホールの中の人間模様は人生の縮図、自然との対話の中でいつもと違った自分自身に出会うことができるし、色々な人の人格に接することもできる。

勝利の美酒に酔うかと思えば、奈落の底を見ることもある。

また、初めてのコースでのプレーは、恋人に会う時のように心ときめくものですね。

しかし、いつも優しく迎えてくれるとは限らない。ゴルフは魔術にかかりやすい。

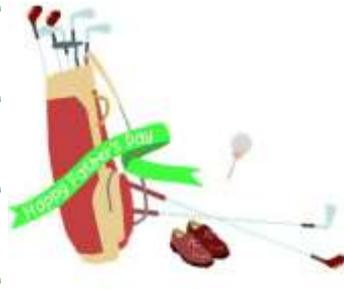
メンタリティーという魔術だ!!
メンタリティー、この不可思議な魔術さえ征服(克服)できれば、シングルも夢ではないと思うが…。

ゴルフがうまくいかないのは、自分の技術が未熟だからと思いついでいるゴルフアが意外に多い。

私はそうではないと自信を持っているが、皆さんはいかがだろうか。向上心の旺盛な人ほど、ひたすら

練習場に通い、時には教え魔の餌食になったりする。コースに出るとショットはバラバラ、スコアはメタメタ。楽しみや健康のためにゴルフをしているのに、逆にストレスをいつぱいためて家路につくゴルフアなのと多いことか。数多くたたけばそれだけ運動になって体に良いと思いい、少ないスコアでラウンドできれば上手くなったと心から喜べばよい。しかし自らのプライドやライバルとのチョコレート合戦の為に、少しでもスコアを縮めたいと思うならば、ゴルフに対する考え方を変えなければならぬ。ゴルフは他のスポーツに比べて格段に精神的要素が強いからである。

シングルも夢ではないと頑張るが、口(クチ)シングルはいけません!! 私はそのではありません!!



大和板紙株式会社

代表取締役社長

北村 貴則

〒582-0004 大阪府柏原市河原町5-32

TEL 0729-71-1445 FAX 0729-71-1449

NIPPON DAISHOWA
PAPERBOARD

日本大昭和板紙株式会社

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2

TEL 03-6665-5000(代表) FAX 03-3217-3200

■工場

秋田工場 足利工場 草加工場

吉永工場 大竹工場

第45回通常総会の予告のご案内

日時：平成23年5月19日(木)
場所：愛知県名古屋を予定

ご案内につきましては4月理事会終了後に
 総会資料とともに郵送させていただきます。

翌日は親睦ゴルフコンペも予定しておりますので、
 ぜひご予約下さりご出席下さりますようお願い申し上げます。

**ホームページアドレス及び
 メールアドレス変更のお知らせ**

組合のホームページアドレス及びメールアドレス
 が変更になりました。

当面は旧アドレスでも受信可能ではありますが、
 お早めにアドレス帳のご変更をお願いいたします。

ホームページアドレス

<http://www.shikan.or.jp>

* 貴ホームページのリンク先の

変更をよろしくお願ひします。

メールアドレス

jimukyoku@shikan.or.jp

紙管原紙 出荷実績

	2008年	2009年	2010年
1月	25,975	19,509	22,901
2月	26,646	17,855	23,153
3月	28,596	18,702	26,137
4月	28,184	22,175	27,063
5月	26,929	20,412	23,535
6月	26,188	22,576	25,844
7月	29,285	23,448	26,124
8月	26,752	21,943	23,983
9月	34,038	24,170	25,688
10月	25,600	25,520	25,595
11月	24,290	24,800	
12月	23,329	24,138	
合計	325,812	265,248	250,023
平均	27,151	22,104	25,002

水性紙管用すべり剤 スライダーKS

接着剤 HMノール

接着剤・すべり剤製造販売

株式会社森川商店

【本社】

TEL 075-341-8121

FAX 075-341-8143

URL: <http://www.morikawashoten.co.jp>

E-Mail: techno@morikawashoten.co.jp

【テクノセンター】

TEL 077-516-2221

FAX 077-563-8894

紙管用接着剤

コニシ株式会社 代理店

株式会社 旭 栄

大阪市北区天神橋1-1-1 電話 06-6354-0356

**環境に配慮した
 無可塑剤型 紙管用接着剤**

ボンドCNシリーズ
 ボンドCN140
 ボンドCN150

コニシ株式会社 <http://www.bond.co.jp/>
 大阪本社 / 大阪市中央区平野町 2-1-2 (沢の鶴ビル) 〒541-0046
 TEL.06(6228)2951
 東京本社 / 東京都千代田区神田錦町 2-3 (竹橋スクエア) 〒101-0054
 TEL.03(5259)5734

全国紙管工業組合事務局

☎540-0003

大阪市中央区森ノ宮中央1-16-16

☎06-6945-0459 fax 06-6946-6108

E-mail jimukyoku@shikan.or.jp

HPアドレス <http://www.shikan.or.jp>

組合員の皆様へ

12月をお願いしておりました、「労働条件調査」の
 ご協力ありがとうございました。

現在お願いしております「組合員名簿」の提出期日
 は2月24日です。ご不明な点等ございましたら、事務局
 までお問い合わせ下さい。

ご協力よろしくお願ひ致します。